

# 説明書

## 1. 製品情報

品番	J218
品名	SSA-Biotin ニホンニワトコレクチン-ビオチン標識
製品形状	凍結乾燥粉末（塩フリー）
保存	Store at 2-8°C

## 2. 規格

凝集活性	< 20 $\mu$ g protein/mL (ウサギ赤血球(2%v/v))
ビオチニル化量	> 2.0 mol/mol Lectin

## 3. 使用上の注意

レクチンに緩衝液を加え、濃度 1 - 2 mg/mL に調整します。  
強く攪拌すると沈殿が生じますので自然溶解させます。  
使用直前に緩衝液で適当な濃度に希釈してご使用ください。  
溶解後は小分けして -20°C で凍結保存してください。  
凍結融解を繰り返さないでください。

### 注意

- ラベル表示の記載事項を必ずご確認ください。
- 転倒・落下防止策をとったうえで管理して下さい。
- 開封の際は、怪我などにご注意下さい。
- ご使用の際は、試薬に触れることのないようにし、眼鏡・手袋・マスク等を着用下さい。なお、試薬が目や口に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で洗い流し、必要があれば医師の診断等を受診して下さい。
- ご使用後の廃棄物に関しては、関連法規等を遵守し、適切に処理して下さい。
- 当社より提供する試薬は研究用ですので、医薬品としてのご使用等その他の目的でのご使用は行わないで下さい。

# データシート

SSA ニホンニワトコレクチン	
SSA-Biotin	品番：J218 包装：1mg ・ 製品形状 凍結乾燥品（塩フリー） ・ 保存 4°Cで1年間安定 ・ 用途 糖タンパク質糖鎖の染色、検出

- 起源 日本ニワトコ Japanese Elderberry (*Sambucus sieboldiana*)
- 糖特異性 Sia  $\alpha$ 2-6Gal/GalNAc
- マイトージェン活性 なし
- 血液型特異性 Tn
- 構造 分子量 160,000 の糖タンパク質，分子量 28,000～38,000 のサブユニットからなる4量体<sup>1)</sup>。サブユニット間の結合はジスルフィド (S-S) 結合。最近ではSSAの一価単量体が調製され、フローサイトメトリーなどへの応用が報告されている<sup>2)</sup>。
- 特徴  $\alpha$ 2-6結合シアル酸を持つムチン型およびアスパラギン型糖鎖に結合する。 $\alpha$ 2-3結合シアル酸には結合しない<sup>3) 4)</sup>。

---

## 文献

- 1) Tazaki, K., Shibuya, N., *Plant Cell Physiol.*, **30**, 899 (1989)
- 2) Shibuya, N., Kaku, H., 糖鎖の構造・機能解析のための共通基盤技術の開発に関する研究（第1期）成果報告書 平成3-5年度, 252 (1995)
- 3) Shibuya, N., Tazaki, K., et al., *J. Biochem.*, **106**, 1098 (1989)
- 4) Takesada, H., Shibuya, N., Nagashima, N., *J. Biochem.*, **112**, 143 (1992)